

無戸籍女性ら市長訪問

明石市が10月から無戸籍者の相談窓口を開くことに先立ち、日、当事者の声を伝えるため、泉房穂市長を

訪ねた。

(社会面参照)

女性らは「民法772条による無戸籍児家族

の会」(神戸市)のメンバーとともに来庁。

相談窓口開設を歓迎した上で「担当者が代わるたび一から同じ話をしなくてはならなかった。専任で対応してもらえたら」と要望した。

泉市長は「戸籍がないと(行政サービスが)

全くできないという誤

解がある。窓口職員

の研修や市民への情報

発信に力を入れたい」と

話した。

女性の母親は一時、

明石市で暮らしていた

が、元夫の暴力に苦し

み家を出た。その後、

別の男性(女性の夫)と

出会い、女性を出産。

当時はまだ元夫と離婚

しておらず「婚姻中に

妊娠した場合は夫の子と推定する」との民法の規定があるため、出生届が出されなかった。

この日、女性が母親の元夫と親子関係になり、訴訟の判決があった。訴えが認められた。

(新聞真理)



無戸籍の女性(手前右)らと面談する泉市長(奥右)＝市役所